



大津市浜町1-38
 滋賀銀行従業員組合
 TEL 077-525-5232
 TEL 077-521-2775
 FAX 077-525-5232
<http://www.biwa.ne.jp/~ffs/>
 E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

利用者の生の声を聞く

11月7日「輝け！滋賀の中小業者」をテーマに第10回滋賀県商工交流会が大津市内で開催されました。



輝け！滋賀の中小業者

消費税増税と不況に商売つぶされてたまるか！

第10回商工交流会

交流会には1000人が超える中小業者が参加され森靖雄氏（愛知東邦大学）の記念講演と6つの分科会で交流が行われ、中島委員長と谷特別執行委員が助言者として参加しました。

融資、金融円滑化法、生活福祉資金活用分科会では、「金融円滑化法で融資をまとめたので返済が楽になったが、不況が続いており再度の変更も必要」「住宅ローンの金利引下げを申し入れたが『取り扱っていない』と断られた」「県の制度融資を申し込んだら一般の融資になり、金利が2・3%から4・5%になった」など利用者の生の声が出され意義のある交流会となりました。

リーマンショック何の責任もない国民・中小業者に求められる不況への対応

第10回商工交流会の分科会での中島委員長の発言要旨です。

金融円滑化法について

多くの国民や中小業者に何の責任もないのに不況への対応がせまられている。その背景は、

○間接金融から直接金融へ金融行政を進めた結果、金融機関が証券投資で多額の損失を出した
 ○貸出債権を自己査定（不良債権化）し、金融機関がリスク額を引当金として積み上げた
 ○自己資本比率に一定の規制を設けたことで、貸し渋り・

貸し剥がしが起こった
 金融庁としても、相談ホットラインを設立するなどしたものの、申し出を受け対応するかどうかは金融機関の判断となっている。

金融機関を取り巻く状況

リーマンショック以降、金融機関を取り巻く状況にも変化が起こる。
 ○米国で金融規制強化法が成立
 ○自己資本比率規制の強化（バーゼルIII）

金融本来の役割を求める一方、健全な金融機関として自己資本のさらなる充実が求められている。
 結局、収益力の向上が求め

中島委員長はこれらの質問に答えながら、別掲のような話をしました。

革新の会しが30周年のつどい 国民が政治を動かしている 巨大な前向きの流れに確信を

平和・民主・革新の日本をめざす滋賀の会（革新の会しが）の結成30周年記念

られている

○収益力の低い金融機関の統廃合へ

○さらに地域金融機関から広域金融機関へ

○協同組織金融機関の株式会社化議論…小規模な（地域）金融機関を整理する？

○リスク要因…2015年予定の国際会計基準（IFRS）

○地域金融機関の広域化した巨大銀行の可能性…中小零細業者への風当たりは強い

金利について

金利は経済の健康状態を表すバロメーター

なぜ住宅ローン金利を下げ

るのか

バブル期を思い出して

結論

中小業者のみならず、利用者の立場から地域金融機関を育てていただくようお願いしたい。

職場の声

時間外不一致なし？

定例店内検査で、時間外命令簿の仕事が終わった時間とパソコンの電源オフ時間が合っているか調べる検査があります。何人かビックアップして調べますが、時間が合わない人は外し、時間が合っている人を選び出して「不一致なし」で報告している人がいます。

若い外交かわいそう！

外交役席と次長とエリアマネージャーが話しをしていました。

報告ものを一日がかりで外交が作成せなあかんしおまけにこの報告もののために情報を集めるのがものすごく大変。そこへこんな事してると監査部から指摘あるし、本部は横のつながりないから営

「業店のものすごく大変だ」と3人がぼやいていました。本当に大変そうです。詳しくわかりませんが「いまの若い外交が可哀想や」と言っていました。

ないもの揃える苦労！

日銀の監査を受ける店は本部から、用意する物のリストがきます。その中に座布団とポットがあります。

座布団は銀行の内部監査でも求められます。ポットは、各支店にはあると思いますが、本店は全館給湯器がついているのでありません。どこかの部

にないかあちこち電話して探しています。



の30年のあゆみ」を報告がされました。

第2部のレセプションでは、参加者から各団体の取り組みや革新懇に対する思い出が語られました。話しは「派遣労働者との連帯運動の発展」「貧困の中の子どもたちを救うネットワーク」「超党派で広がる県立高校統廃合に反対する運動」「地域革新懇再スタートの努力」「ふところの広い平和運動への挑戦」「青年の中で連帯を広げる努力」など感動的なものばかりでした。



の集いが11月21日大津市内で開催されました。つどいには約40人が参加し、賛助団体である当単組からも参加しました。

はじめに全国革新懇の乾友行事務室長が「激動の情勢と革新懇運動考える」をテーマに講演されました。乾氏は、民主党政府の支持率急落などにも触れながら「国民が政治を動かしている。巨大な前向きの流れに確信をもとう。国民の革新の結果は容易ではないが、壁はかならず乗り越えられる。政治革新は主権者、国民の仕事。それを導くのが革新懇」と述べられました。

つづいて「革新の会しが」事務局長の西田氏から「1980年11月に結成された滋賀の革新懇運動